

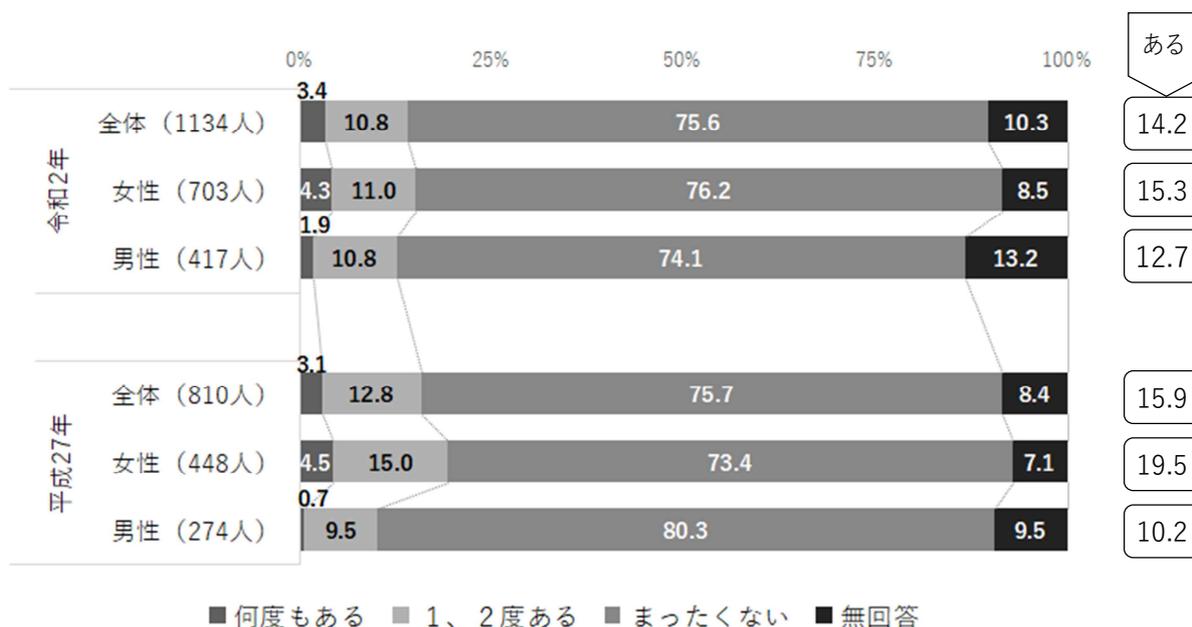
1 1 配偶者等からの暴力について

(1) 配偶者等からの暴力の被害経験について

問14 あなたは、配偶者やパートナーまたは恋人などから、次のようなことをされた経験がありますか。

(ア) なぐる、蹴る、物を投げつけるなど身体に対する暴力を受けた

図II-11-1 なぐる、蹴る、物を投げつけるなど身体に対する暴力を受けた[全体、性別] (前回調査比較)



配偶者等からの暴力の被害経験についてたずねたところ、なぐる、蹴るなど身体に対する暴力を受けた経験は、「何度もある」が3.4%、「1、2度ある」が10.8%で、これらを合計した被害経験が『ある』人は14.2%だった。

性別にみると、被害経験が『ある』人は女性が15.3%、男性が12.7%で、女性の方が2.6ポイント高くなっている。

前回調査と比較すると、被害経験が『ある』人は、女性では4.2ポイント減少しているが、男性では2.5ポイント増加している。

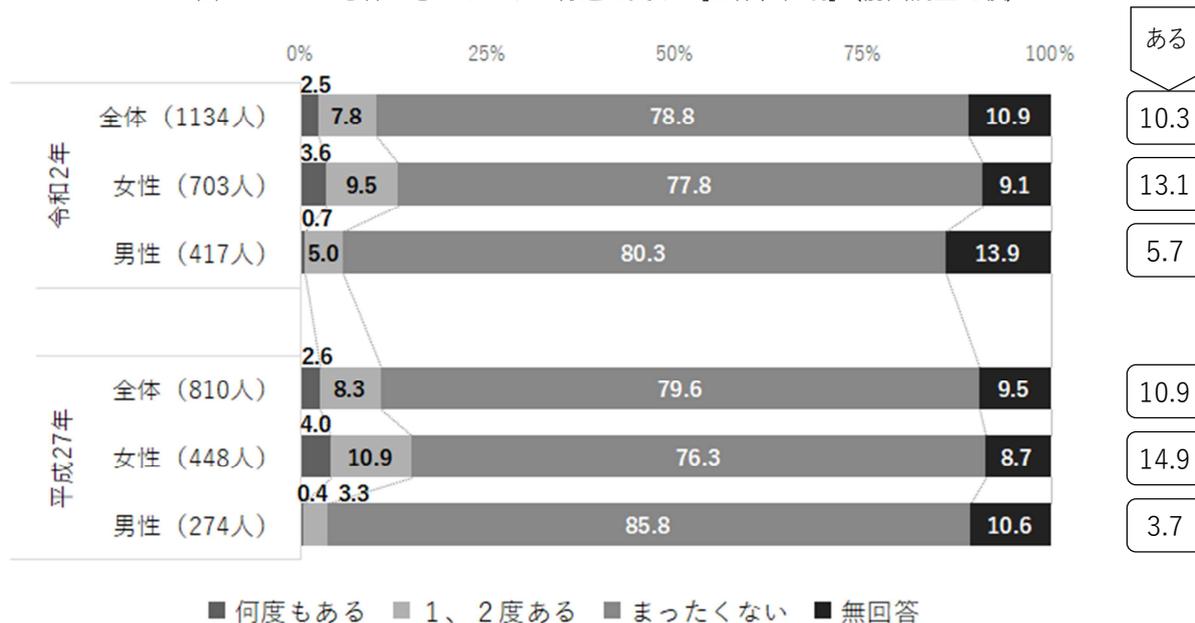
(イ) 恐怖を感じるような脅迫を受けた

恐怖を感じるような脅迫を受けた経験については、「何度もある」が2.5%、「1、2度ある」が7.8%で、被害経験が『ある』人は合わせて10.3%となっている。

性別にみると、被害経験が『ある』人は女性が13.1%、男性が5.7%で、女性の方が7.4ポイント高くなっている。

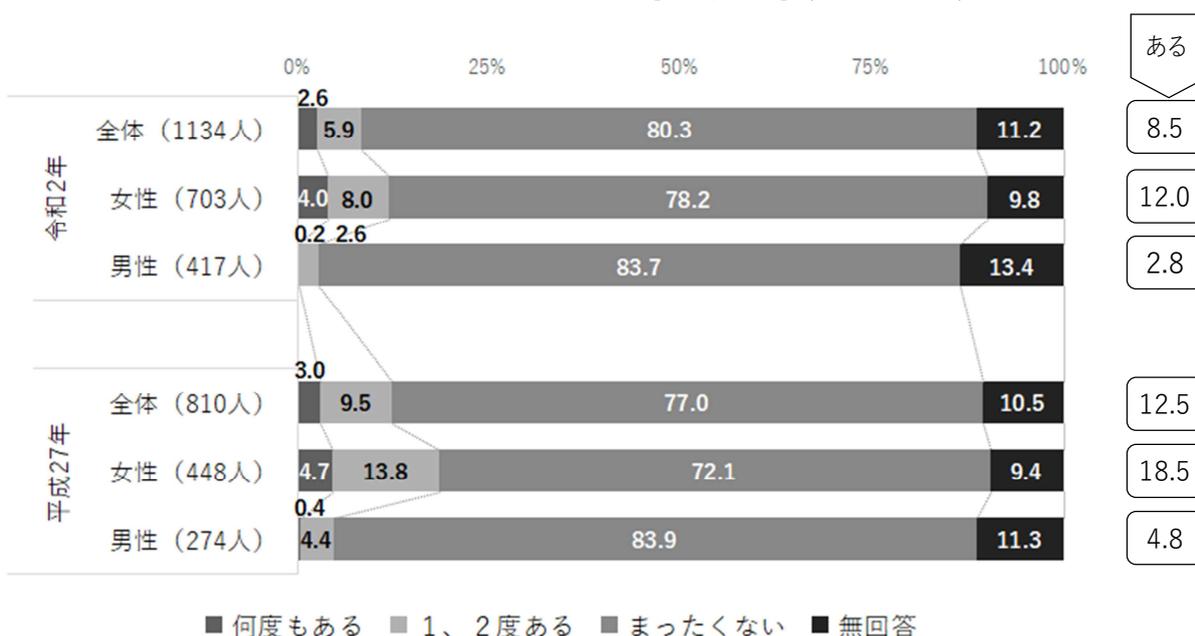
前回調査と比較すると、被害経験が『ある』人は、女性で1.8ポイント、男性で2.0ポイント減少している。

図 II-11-2 恐怖を感じるような脅迫を受けた[全体、性別] (前回調査比較)



(ウ) いやがっているのに性的な行為を強要された

図 II-11-3 性的な行為を強要された[全体、性別] (前回調査比較)



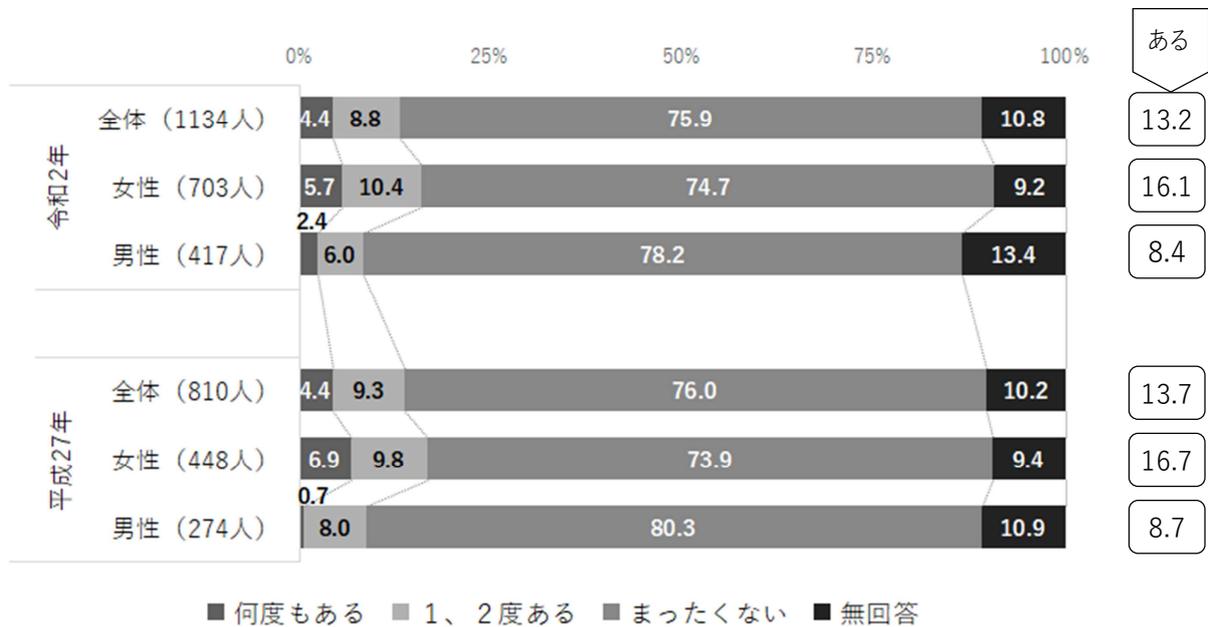
性的な行為の強要については、「何度もある」が2.6%、「1、2度ある」が5.9%で、被害経験が『ある』人は合わせて8.5%だった。

性別にみると、被害経験が『ある』人は女性が12.0%、男性が2.8%で女性の方が9.2ポイント高く、他の項目に比べて男女間の差が大きくなっている。

前回調査と比較すると、被害経験が『ある』人は男女とも減少している。

(エ) 「誰のおかげで生活できるんだ」「かいしょうなし」など、深く傷つくような言葉を言われた

図 II-11-4 深く傷つくような言葉を言われた[全体、性別] (前回調査比較)



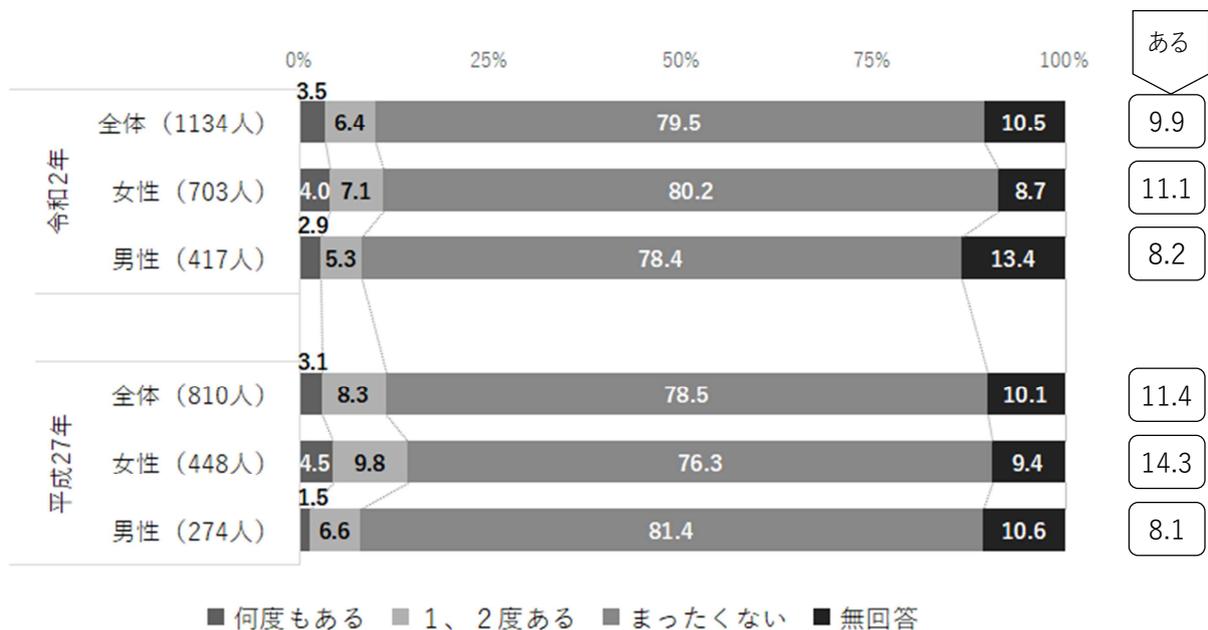
深く傷つくような言葉を言われた経験については、「何度もある」が4.4%、「1、2度ある」が8.8%で、被害経験が『ある』人は13.2%だった。

性別にみると、被害経験が『ある』人は女性が16.1%、男性が8.4%で、女性の方が7.7ポイント高くなっている。

前回調査との比較では、大きな変化はみられなかった。

(オ) 交友関係や電話を細かく監視された

図 II-11-5 交友関係や電話を細かく監視された[全体、性別] (前回調査比較)



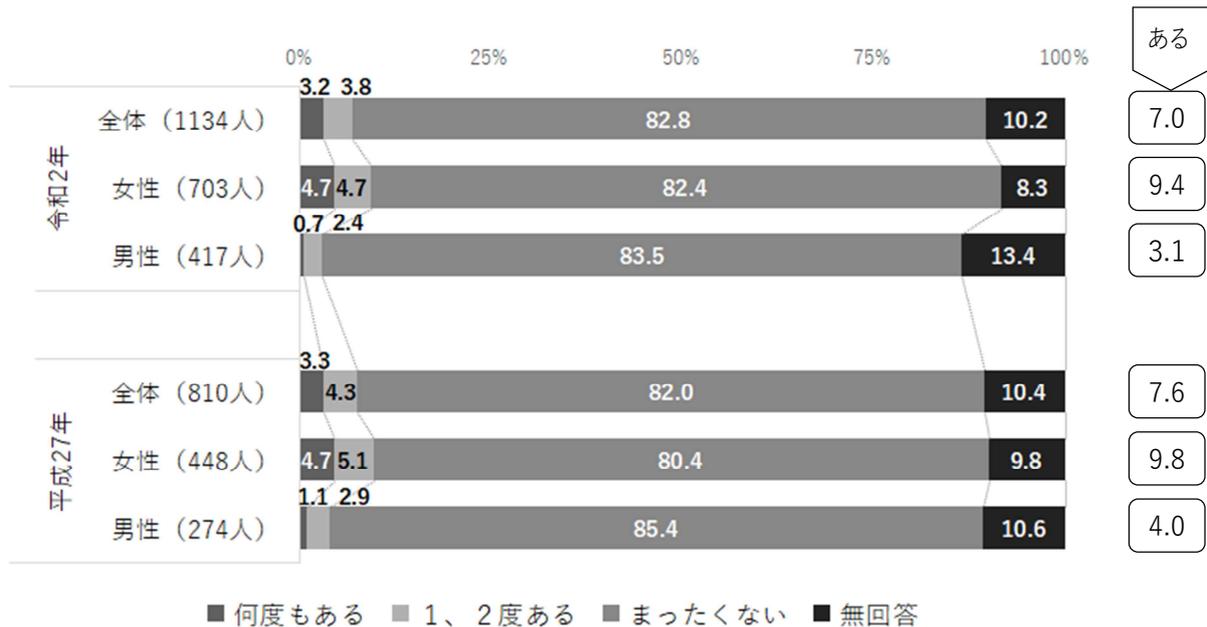
交友関係や電話を細かく監視された経験については、「何度もある」が3.5%、「1、2度ある」が6.4%で、被害経験が『ある』人は9.9%だった。

性別にみると、被害経験が『ある』人は女性が11.1%、男性が8.2%で、女性の方が2.9ポイント高くなっている。

前回調査と比較すると、被害経験が『ある』人は男性ではほとんど変化がないが、女性では3.2ポイント減少している。

(カ) 生活費を渡してもらえなかった

図II-11-6 生活費を渡してもらえなかった[全体、性別] (前回調査比較)



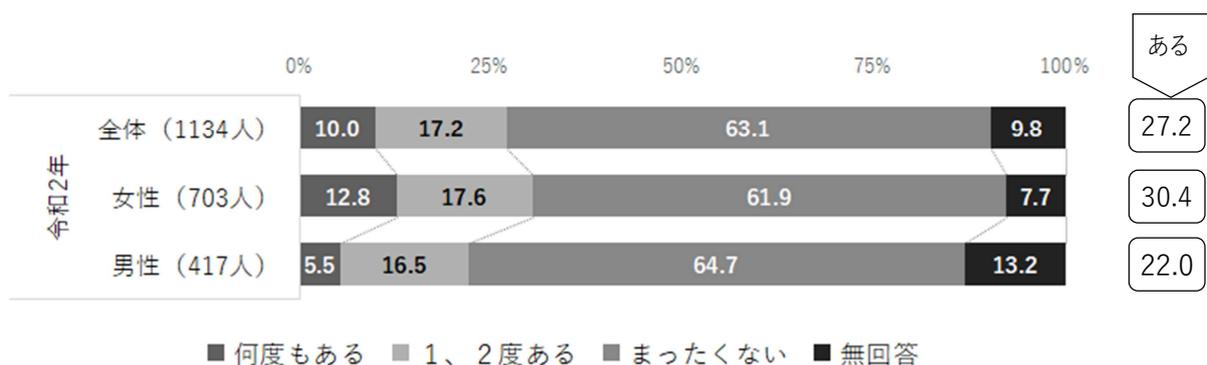
生活費を渡してもらえなかった経験については、「何度もある」が3.2%、「1、2度ある」が3.8%で、被害経験が『ある』人は7.0%だった。

性別にみると、被害経験が『ある』人は女性が9.4%、男性が3.1%で6.3ポイントの開きがあり、女性の被害経験は男性の3倍となっている。

前回調査と比較すると、被害経験が『ある』人は男女ともわずかながら減少している。

(キ) 配偶者等からの暴力の被害経験－まとめ－

図II-11-7 配偶者等からの暴力の被害経験－まとめ－[全体、性別]

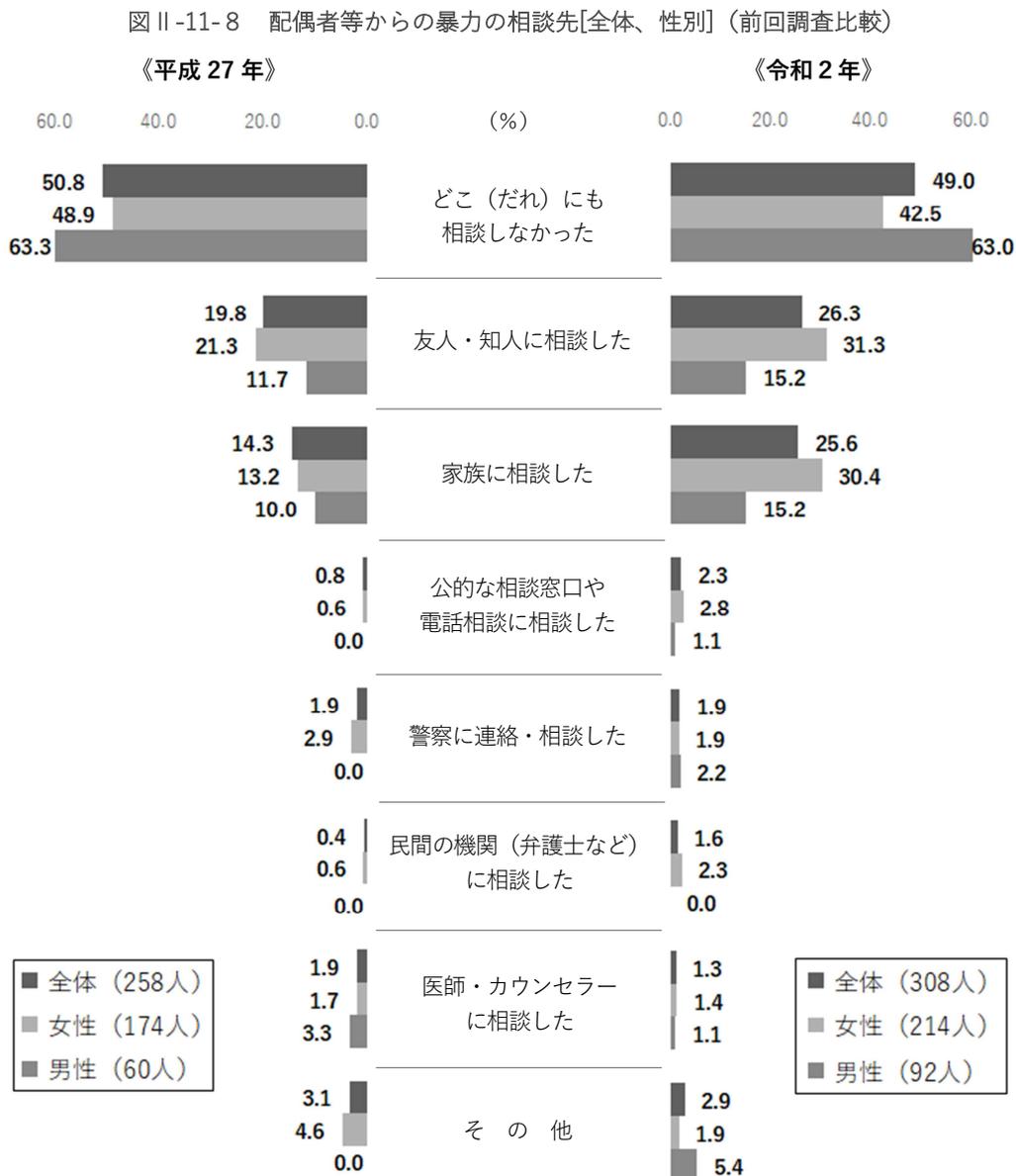


(ア)～(カ)の身体的、精神的、性的、経済的暴力のいずれかを一つでも受けたことが「何度もある」が10.0%、「1、2度ある」が17.2%で、被害経験が『ある』人は合計して27.2%だった。

性別にみると、被害経験が『ある』人は女性では30.4%、男性では22.0%で、女性の方が8.4ポイント高くなっている。女性では約3人に1人、男性でも約5人に1人が、何らかの暴力の被害経験があるという結果となっている。

(2) 配偶者等からの暴力の相談先について

問15 (問14で「何度もある」「1、2度ある」と答えた方におたずねします) 暴力を受けたことを誰かに相談しましたか。次の中からいくつでも選んでください。



配偶者等からの暴力を受けたことがある人に、その相談先をたずねたところ「どこ（だれ）にも相談しなかった」が49.0%で最も高く、次いで「友人・知人に相談した」が26.3%、「家族に相談した」が25.6%となっている。

性別にみると、「友人・知人に相談した」「家族に相談した」はともに女性が約30%で、男性の約2倍となっている。一方で「どこ（だれ）にも相談しなかった」は男性が63.0%で、女性よりも20.5ポイント高くなっている。

前回調査と比較すると、男女ともに「家族」「友人・知人」が増加している。また「公的な相談窓口や電話相談に相談した」「民間の機関（弁護士など）に相談した」もわずかながら増加している。女性では「どこ（だれ）にも相談しなかった」が6.4ポイント減少している。

「その他」の内容

《女性／30歳代》

- 市役所

《女性／50歳代》

- 自分の思いを相手へ伝えた。

《女性／60歳代》

- 姉

《女性／70歳代以上》

- 離婚した。

《男性／60歳代》

- パートナー間で話し合い。
- 2人間で話し合った。

（3）配偶者等からの暴力を相談しなかった理由について

問16 （問15で「どこ（だれ）にも相談しなかった」と答えた方におたずねします） 相談しなかったのはなぜですか。次の中からいくつでも選んでください。

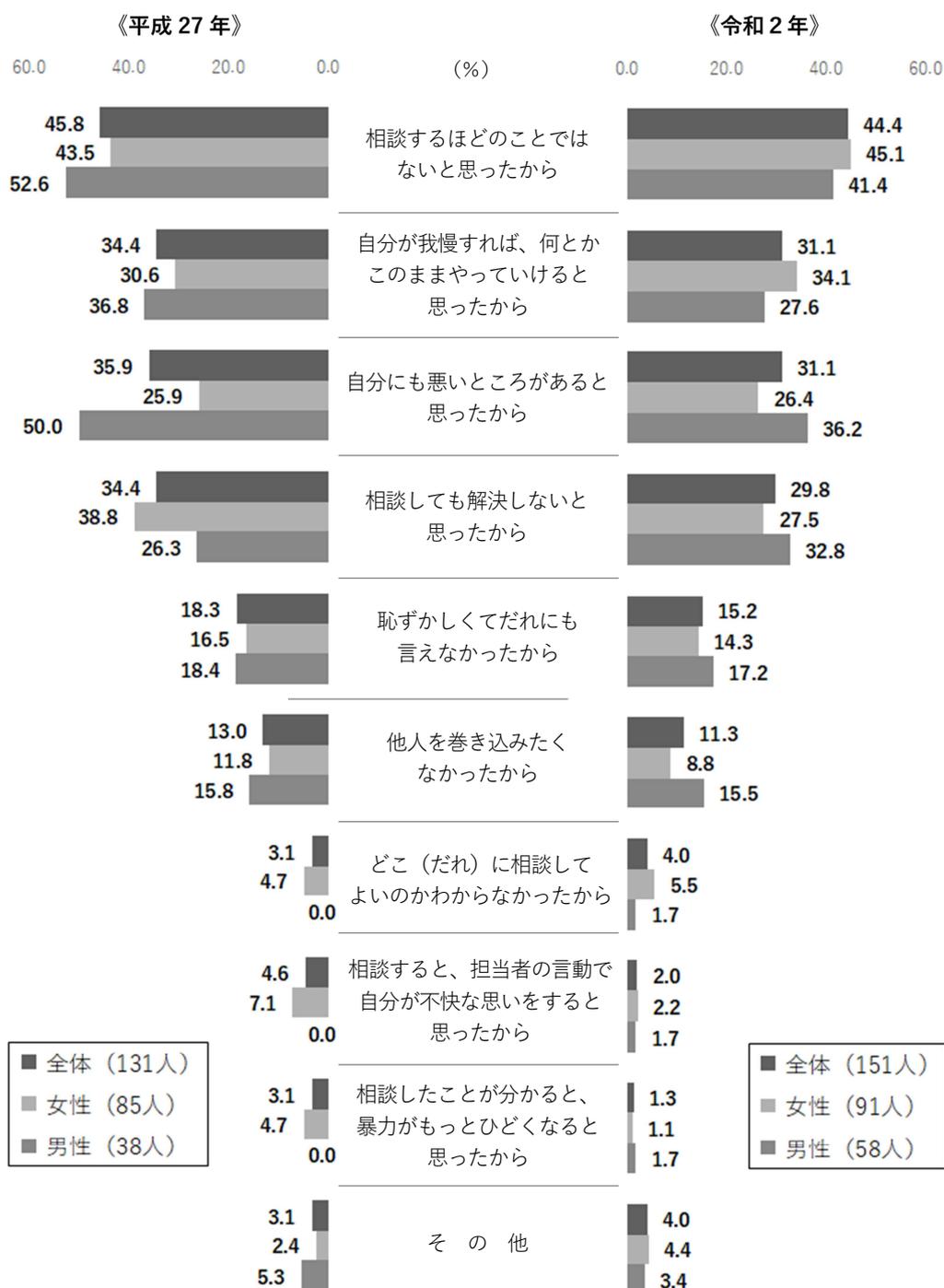
配偶者等からの暴力をどこ（だれ）にも相談しなかった人にその理由をたずねたところ、「相談するほどのことでもないと思ったから」が44.4%、「自分が我慢すれば、何とかこのままやっていると
思ったから」と「自分にも悪いところがあると思ったから」が31.1%、「相談しても解決しない
と思ったから」が29.8%だった。

性別にみると、「自分にも悪いところがあると思ったから」は男性で36.2%と高く、女性の26.4%
とは9.8ポイントの開きがある。また「他人を巻き込みたくなかったから」は6.7ポイント、「相談
しても解決しないと思ったから」は5.3ポイント、いずれも男性が女性よりも高くなっている。

「自分が我慢すれば、何とかこのままやっていけると思ったから」は女性が34.1%で、男性よりも6.5ポイント高くなっている。

前回調査と比較すると、「自分にも悪いところがあると思ったから」は男性では13.8ポイント減少している。「相談しても解決しないと思ったから」では男女の違いが大きく、女性が11.3ポイント減少しているのに対し、男性は6.5ポイント増加している。

図Ⅱ-11-9 配偶者等からの暴力を相談しなかった理由[全体、性別]（前回調査比較）



「その他」の内容

《女性／40 歳代》

- 親が他界していないため信用できる人がいなかった。
- 夫の親が世間体を気にするので言えなかった。

《女性／50 歳代》

- 両親に心配をかけたくなかった。

《女性／60 歳代》

- 話し合いで解決した。

《男性／40 歳代》

- けがするレベルでないし、仲直りできるから。